

公益財団法人仙台市健康福祉事業団

平成29年度 事業計画

【公益目的事業】

公1	市民の健康福祉意識の醸成啓発事業、生きがづくり支援や社会参加の促進に関する事業及び仙台市シルバーセンターの管理運営を行う事業	収益	236,735,000円
		費用	245,367,000円
		人件費	139,233,000円
		物件費	106,134,000円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 各種講座の開催

広く市民に生きがい・健康づくりの重要性を普及・啓発するために講演会を実施する。また、高齢者や高齢期以前の市民に対して、生きがづくり支援や社会参加の促進を目的とした学習機会を提供する。

(1) 意識啓発講演会	年1回	シルバーセンター	自主事業		
			0	695,000	
<p>生きがい・健康づくりにつながる最新の活動や話題を取り上げた講演会又はシンポジウムを開催し、市民の関心を掘り起こす。併せて、生きがづくりの実践事例を紹介することを目的とした作品等の展示や、生きがいと健康に関する各種の体験コーナーを設け、具体的な活動に取り組むきっかけとなる機会を提供し、意識啓発を図る。</p>					
(2) 学習機会の提供					
ア	せんだい豊齢学園公開講座	年4回	シルバーセンター	自主事業	
				100,000	※
<p>「豊齢化社会づくり」への理解を促すとともに、豊齢学園の一端を紹介するため、学習内容を広く市民に公開する。</p> <p>◆対象：50歳以上の市民 ◆回数等：50人×4回</p>					
イ	せんだい豊齢学園短期集中コース	年2期	シルバーセンター	自主事業	
				150,000	※
<p>2年制コースで開発した個々のテーマを、より専門性を持たせ、通年の学習機会に参加が難しい市民を対象に提供し、地域づくりや社会参加等の必要性の理解促進及び「豊齢化社会づくり」を担う人材養成を目的として、関係団体との連携により開催する。</p> <p>◆対象：50歳以上の市民 ◆回数等：50人×2期（1期3回コース）</p>					
ウ	大人の未来学校	年5回	シルバーセンター	自主事業	
				95,000	266,000
<p>生きがいや健康づくり、生活設計等を通し、現在の生活と高齢期のつながりについて考える機会を持てるよう、さまざまな角度からテーマを設け、講座を開催する。また、より多くの市民へ意識啓発を行うため、事業団発行の情報誌「げんき倶楽部杜人」において誌上講座を企画する。</p>					

◆対 象：概ね30～50歳代の市民
◆回数等：30人×3回、50人×2回

※「2(1) せんだい豊齢学園事業」との共通経費

2 高齢者ボランティア等の人材養成

高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を社会に還元し、自身の生きがいを加えて、地域社会づくりの重要な担い手となるよう、高齢者ボランティア等の人材を養成する。

(1) せんだい豊齢学園事業	通年	シルバーセンター	自主事業	
			5,954,000	6,985,000
<p>市民に積極的な社会参加・貢献に資する学習機会と相互交流の場を提供する。年間を通じた体系的な学習のほか、学園の夏休み期間を利用しての講演会や、学園生と多くの学園修了生により組織した豊齢ネットワークとの交流を図るイベント等を実施し、健やかに生きがいを創造しつつ、生涯にわたって自立できる高齢者づくりを推進するとともに、安心して暮らすことができる地域社会づくりを担う人材の養成を図る。</p> <p>◆開設コース：総合生活コース、ふるさと文化コース</p> <p>◆対 象：50歳以上の市民 各コース60人×2学年</p> <p>◆内 容 等：①せんだい豊齢学園（2年制コース）年間99時間（週1回3時間×年間33日） ②夏期特別人材養成講演会 年間1回 ③豊齢学園・豊齢ネットワーク交流イベント 年間1回</p>				
(2) シニア学び合い講座	通年	シルバーセンター	自主事業	
			666,000	1,759,000
<p>高齢者がさまざまな活動を通して蓄積した知識や技能を公開・伝承することで、さらに多くの高齢者の社会参加を啓発・支援するとともに、スマートフォンを始めとする情報通信機器の使い方講習会を開催し、情報格差の解消やICT（情報通信技術）を活用した社会参加・交流を図る。</p> <p>◆対 象：シニア世代の市民、一般市民</p> <p>◆内容等：①高齢者の知識や技能を活用した講座 20人×1期（4回コース） ②スマートフォンの使い方教室 i) 市民向け教室 16人×12期（1期2回コース） ii) サポーター養成講座 16人×2期 iii) スマホ体験相談会 随時 ③地域活動を実践するための講座 30人×1期（6回コース）</p>				

3 ボランティア団体等の支援

高齢者のボランティア活動の継続・活性化を図り、地域で高齢者を支える仕組みづくりを促進するために、高齢者が主体となり活動を行っているグループ及び地域高齢者を対象に活動を行っているボランティア団体を支援する。

(1) せんだい豊齢ネットワーク支援	通年	シルバーセンター	自主事業	
			0	1,803,000
<p>個々に活動してきたシニア活動グループの交流と連携を図るために組織された「せんだい豊齢ネットワーク」（豊齢ネット）の円滑な運営とより活発な活動展開を支援し、幅広く社会貢献活動を推進する。</p> <p>◆対 象：豊齢ネット加入グループ</p> <p>◆支援内容：事務局運営支援（シルバーセンター内に開設する交流サロンの運営支援） 加入グループ間交流支援（代表者会議、推進会議、交流会等の開催支援） 加入グループ活動活性化支援（活動機会の提供、活動の提案やサポート） 豊齢ネット全体活動実施支援（加入グループ全体で企画・運営する各種活動のサポート） 広報支援（ホームページの開設運営支援）</p>				

(2) 仙台市ボランティア団体等先導的 事業助成（ふれあいデイホーム） 説明受付審査等業務	通年	シルバーセンター	受託事業	
			56,000	56,000
主に介護保険の要介護（要支援）認定を受けていない高齢者を対象に、生活指導や昼食提供等を行っているボランティア団体等の事業助成において、助成申請書類等の説明・受付・審査及び研修会を開催する。				
◆対 象：仙台市より助成金交付決定を受けたボランティア団体（28年度実績：13団体）				
◆内 容：①助成金交付説明・受付・審査（ボランティア団体からの助成金交付申請に係る書類等の説明・受付・審査）				
②現地調査（助成金交付ボランティア団体の活動状況確認のための訪問調査）				
③研修会等の開催（助成金交付ボランティア団体の活動支援を目的とした研修会・意見交換会の開催）				

4 高齢者等の総合相談

多様化・複雑化する高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、生活全般や専門的な問題に関する相談に応じる。

(1) 高齢者に関する一般相談・ 専門相談	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
①高齢者に関する一般相談				
◆内 容：高齢者やその家族が抱える生活全般に関する問題				
◆相 談 日：休館日を除く毎日				
◆相談方法：電話、面接 （平成27年度実績 586人）				
②専門相談				
◆内 容：税務、法律、年金				
◆相 談 日：月1回～4回程度				
◆相談方法：面接 （平成27年度実績 132人）				

※「8(1) 研修室等の貸出、温水プール等の利用提供」との共通予算

5 活動の発表の機会の提供

高齢者の生きがいがづくり支援の一環として、創作活動などの趣味やスポーツ活動の継続支援、活動意欲喚起のために発表機会を提供する。

(1) シルバー創作展	年2回	シルバーセンター等	自主事業	
			130,000	1,585,000
①シルバー創作展				
高齢者に創作活動の発表の機会を提供することにより、高齢者の生きがいがづくりを支援するとともに、市民各層の高齢者に対する理解を深めることを目的として作品展を開催する。				
◆対 象：市内在住又は市内勤務・通学の60歳以上のアマチュアの方				
◆部 門：洋画・日本画・書・写真・工芸・手工芸の6部門及び介護事業所等の共同作品				
◆期 間：6日間				
②市民サークル等との協働創作展				
高齢者による芸術創作活動支援を周知することを目的に、シルバーセンター以外の施設を会場として市民サークル等との協働作品展を実施する。				
(2) 全国健康福祉祭 仙台市参加者等派遣業務	9月9日 ～12日	秋田県（開催地）	受託事業	
			7,544,000	7,544,000
高齢者の生きがい創造や社会参加、世代間交流を通じ、高齢者の自立や魅力ある長寿社会づくりの契機とすべく、厚生労働省・長寿社会開発センター・開催自治体が主催する全国健康福祉祭に仙台市選手団を派遣する。				
◆派遣種目・人数：21種目、選手196人・役員9人				

6 普及啓発イベントの開催

高齢者の生きがい・健康づくりや介護予防の必要性を普及啓発するイベントを開催し、参加者自身の生きがい・健康づくりを支援するとともに、新たな活動の契機を提供する。

(1) 仙台市高齢者生きがい健康祭				
仙台市・仙台市高齢者生きがい健康祭実行委員会・当事業団の3者共催により、健康づくりや社会参加の機会を提供し、活力ある高齢社会の実現を目的とするイベントを開催する。				
ア	市民広場交流事業	9月	勾当台公園市民広場	自主事業（共催事業）
				※ ※
高齢者支援団体等によるテントブース出展と歌や踊りを通じて健康づくり等を行っている団体等によるステージ発表のイベントを開催する。 ◆出展団体：27団体 ◆発表団体：12団体				
イ	競技種目交流大会	9月～11月	仙台市内体育館等	自主事業（共催事業）
				※ ※
概ね50歳以上の方やチームを対象に、さまざまな競技種目による交流大会を開催する。 ◆対象：概ね50歳以上の方やチーム ◆開催種目：卓球等18種目				
(2) 介護予防月間実施業務		11月	シルバーセンター等	受託事業
				600,000 600,000
仙台市では、11月を介護予防月間と定め、身近な地域で取り組む介護予防の普及啓発を目的に、全市的キャンペーンを展開している。介護予防月間の企画・運営に携わる各関係団体による「関係団体会議」を開催し、事務局業務を担う。また、広く一般へ介護予防の普及啓発を行うためイベントを開催する。 ①事務局業務 ②介護予防普及啓発イベント開催 講演会、健康度測定・健康づくり相談、生きがいと健康づくり体験等				

※仙台市高齢者生きがい健康祭は、仙台市から実行委員会へ交付される負担金にて開催する。

7 情報誌の発行

高齢者を中心とした広く市民に対して、健康福祉に関する意識啓発を図る。また、各種事業の参加者募集やシルバーセンターの紹介を行う。

(1) 健康福祉情報誌 「げんき倶楽部 杜人」の発行		年6回	年間42万部 (7万部×6回)	自主事業	
				0	61,000
民間企業との共同により、生きがい・健康づくりに関する記事を掲載した情報誌を発行するとともに、オンラインマガジンとしてインターネット上に掲載し、広く情報提供を行う。 ◆仕様：A4判・16ページ・フルカラー ◆配布先：市民センター、老人福祉センター、医療機関等					
(2) シルバーセンターだより 「あばいん」の発行		毎月1回	年間4万2千部 (3千5百部×12回)	指定管理事業	
				700,000	700,000
広く市民にシルバーセンターを周知するため、シルバーセンターだより「あばいん」を発行する。 ◆仕様：A3判二つ折り・両面 ◆配布先：市内の公共施設等					

8 仙台市シルバーセンターの管理運営

福祉団体等の活動活性化を図るための研修室等の貸出、高齢者等の健康保持増進を図るための温水プール等の提供、シルバーセンターの維持管理を行う。

平成27年度からは、仙台市より指定管理者としての指定を受け、「仙台市健康福祉事業団・東北共立グループ」として共同で施設の管理を行っている。

(1) 研修室等の貸出 温水プール等の利用提供	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			84,080,000	84,080,000
①研修室等の貸出 福祉団体等へ活動・発表の場を提供することを目的に、研修室等の貸出を行う。 (平成27年度実績 1,331件 40,601人) ②温水プール・浴室・サウナの利用提供 60歳以上の高齢者及び障害者を対象に、温水プール・浴室・サウナの利用提供を行う。 (平成27年度実績 44,794人)				
(2) センターの維持管理	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
①日常管理のための業務委託 警備、清掃、温水プール監視等の常駐業務の管理を行う。 ②設備の保守点検等の業務委託 空調設備、エレベーター設備、プール設備等の保守管理、交流ホール舞台設備等の保守管理を行う。 ③事務機器等の賃貸借管理 ④施設整備 小規模修繕管理、照明機器のLED化、センター入口付近敷地の環境整備、館内広報を実施する。 ⑤大規模修繕の推進管理(仙台市予算) 交流ホール舞台照明設備の修繕、中央監視装置・空調設備自動制御盤の更新等に関し、仙台市と連携・協力を行う。				

※「(1) 研修室等の貸出、温水プール等の利用提供」との共通予算

公2	市民の健康づくり支援に関する事業及び仙台市健康増進センターの管理運営を行う事業	収益	244,851,000円
		費用	246,266,000円
		人件費	152,134,000円
		物件費	94,132,000円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 各種教室の開催

生活習慣病や肥満の原因となる運動不足や不規則な食生活、要介護状態につながる運動機能の低下を予防・改善することを目的として、各種教室を開催する。

(1) 生活習慣病予防・改善講座	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			88,000	88,000
生活習慣病の予防・改善や生活のQOLに大きく影響を及ぼす可能性のあるロコモティブシンドロームの予防を広く市民に啓発するため、ヘルスプロモーション啓発セミナーを実施する。 ◆内容：生活習慣病、ロコモティブシンドロームをテーマにした講演会 ◆回数等：50～100人×3回				
(2) 障害者健康づくり教室	通年	地域拠点施設等	指定管理事業	
			981,000	981,000
地域拠点施設、障害者施設、支援学校等において、障害者の健康増進を目的とした教室を開催する。また、各区自立支援協議会等に参加し、情報収集やネットワークづくりも行いながら、障害特性を考慮した運動プログラムや体力測定法、ツールの開発等も行う。				

①地域拠点教室
i)個人対象：15人×40回×3会場（健康増進センター・シルバーセンター・仙台市体育館）
ii)団体・グループ対象：20～40人程度×20回
②夕暮れエクササイズ
◆対 象：若年者軽度知的障害者
◆回数等：15人×40回×1会場
③呼吸らくらくレクリエーションサークル
◆対 象：呼吸健康教室参加者又は呼吸器疾患があり運動可能な方
◆回数等：10人×20回×1会場
④施設対象教室
◆対 象：障害者及び施設職員
◆回数等：12回程度×1施設
⑤支援学校対象教室
◆対 象：生徒及び教職員
◆回数等：12回程度×2校
⑥調査・研究・開発
◆内 容：障害者健康づくり調査（社会資源・意識）
障害者健康づくり援助法の開発
障害者運動プログラム・測定評価・ツールの開発
障害者健康づくり支援システムの検討

(3) 高齢者運動教室
 健康づくりや介護予防の啓発等を目的として、元気高齢者、後期高齢者、虚弱高齢者等を対象に、高齢者運動教室を開催し、修了後は地域の自主サークルとのネットワークを活用し、運動の継続を支援する。

ア	高齢者運動教室	通年	シルバーセンター	自主事業	
				8,239,000	8,786,000
①シニア元気あっぷ運動教室 ◆対 象：満65歳以上の市民 ◆回数等：33人×10クラス×3期（1期9回コース） 33人×10クラス×1期（8回コース） ②はつらつ運動教室 ◆対 象：満80歳以上の市民 ◆回数等：25人×4クラス×4期（1期8回コース） ③きらら元気教室 ◆対 象：概ね60歳以上の運動可能な方 ◆回数等：30人×36回 ④いきいき脳活健幸教室（仮称） ◆対 象：満65歳以上の認知症予防に興味がある運動可能な市民 ◆回数等：36人×1クラス×1期（18回コース） 25人×1クラス×2期（1期8回コース） ⑤高齢者運動教室公開講座 ◆対 象：市民 ◆回数等：250人×1回					
イ	高齢者運動教室	通年	健康増進センター	指定管理事業	
				1,751,000	1,751,000
①いずみシニア元気あっぷ運動教室 ◆対 象：満65歳以上の市民 ◆回数等：25人×2クラス×4期（1期8回コース） ②シニアステップアップ運動教室 ◆対 象：概ね60歳以上の元気な市民					

◆回数等：40人×2クラス×40回 25人×1クラス×40回
③いきいき脳活健幸教室（仮称）
◆対 象：満65歳以上の認知症予防に興味がある運動可能な市民
◆回数等：25人×1クラス×2期（1期8回コース）
④いずみはつらつ運動教室
◆対 象：満80歳以上の市民
◆回数等：25人×1クラス×4期（1期8回コース）

2 運動支援者・指導者の人材養成

障害者の健康増進、高齢者の介護予防を支援するために必要な運動に関する知識・技術・実践力の習得、支援者・指導者の養成を目的とした研修会を開催する。

(1) 障害者運動サポーター養成研修会	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			194,000	194,000
<p>障害者の健康づくりを支援する運動サポーターのスキルアップ研修会を行う。</p> <p>◆内 容：運動実技、栄養・健康講話、専門職講話等</p> <p>◆対 象：健康づくり運動サポーター、障害者スポーツ指導員等</p> <p>◆回数等：30人×3回</p>				
(2) 介護予防自主グループ支援事業 (介護予防運動サポーター養成研修会)	通年	区役所等	受託事業	
			727,000	727,000
<p>高齢者の健康づくりと介護予防のため、自主的な運動実践を支援するサポーターを養成するための研修会を開催する。また、サポーター活動を支援するとともに、サポーターのスキルアップ研修を行い資質の向上を図る。</p> <p>◆対 象：サポーター活動に意欲のある市民、介護予防運動サポーター（活動者）</p> <p>◆回数等：①サポーター養成研修（5区+2支所）×8回 ②スキルアップ研修会（5区+2支所）×4回 ③スキルアップ研修会（全体会）2回</p>				
(3) 健康づくり運動サポーター養成研修会	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			※1	※1
<p>高齢者や障害者の介護予防活動を推進及び支援する運動サポーターのスキルアップ研修会を行う。</p> <p>◆内 容：救急蘇生法、体力測定、運動実技、栄養・保健講話等</p> <p>◆対 象：ウエルネスホープ</p> <p>◆回数等：56人×3回</p>				
(4) 介護予防支援者研修会	年2回	シルバーセンター等	自主事業	
			※2	※2
<p>地域で介護予防の支援活動を行っている方を対象に介護予防に関する運動実践のための知識や技術の習得を目的とした研修会を開催する。</p> <p>◆内 容：講話、運動実技、援助法等</p> <p>◆対 象：町内会、老人クラブ等で介護予防の支援を行っている方</p> <p>◆回数等：50人×2回</p>				
(5) 指導者研修会	年4回	健康増進センター等	指定管理事業	
			※1	※1
<p>地域や施設等における健康づくりや介護予防の指導員等向けに運動支援のノウハウやツール等を紹介・提供するための研修会を開催する。</p> <p>◆内 容：講演会、研修会、活動の啓発と交流、情報提供等</p> <p>◆対 象：障害者施設職員、地域の関係機関職員、運動指導員等</p> <p>◆回数等：40人×4回</p>				

※1 「(1) 障害者運動サポーター養成研修会」との共通予算

※2 「5(1)ウ 出前講座（高齢者の介護予防）」との共通予算

3 健康づくりに関する相談・支援

生活習慣病の発症リスクが高い人や障害者、高齢者が主体的に継続して健康づくりに取り組むことができるように、生活習慣や運動に関する相談・支援を行う。

(1) 障害者健康づくり支援事業	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			※1	※1
障害者健康づくり教室修了者等を対象に、必要に応じたフォローアップや継続支援（施設支援・個別支援）を行う。 ◆内 容：保健・栄養指導、体力測定、運動実技、ヘルスチェック等 ◆対 象：障害者施設・団体・グループ、障害者個人 ◆回数等：施設支援 2～4回×3施設 個別支援 随時				
(2) 運動自主グループ活動支援事業	通年	市民センター等	自主事業	
			0	※2
地域の社会資源である運動自主グループの活動継続を支援し、仙台市全体の介護予防の推進に寄与する。 ◆内 容：巡回啓発支援 世話人会開催 会員募集 健康だよりの送付（情報提供）				
(3) 介護予防プログラム強化事業	通年	シルバーセンター等	受託事業	
			230,000	230,000
仙台市の介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）において委託事業として実施される通所型短期集中予防サービス（通所型サービスC）の質の確保及び向上を図る。 ①介護予防事業者基礎研修 ◆内 容：仙台市内における通所型サービスC実施事業者を対象とした研修会 ◆回 数：1回 ②通所型サービスC事業者訪問 ◆内 容：事業者を訪問し、事業の確認及び事業者との意見交換を行い、必要に応じて助言・指導を行う。 ◆回 数：10回 ③企画会議 ◆回 数：3回				
(4) 健康づくり支援プラン事業	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			5,034,000	5,034,000
一人一人の健康づくりや介護予防の目的に合わせ、健康度測定による必要な検査・測定・問診を実施して作成する「健康づくり処方」をもとに「健康づくり支援プラン」を作成し、その継続実施を支援する。 ①健康づくり支援プランの作成 ◆内 容：個々にあった健康づくりの実施に向けた健康づくり支援プランの作成 ◆回数等：健康づくり総合コース 4人×28回 健康づくり簡易コース・食生活コース・身体活動コース 4人×120回 ②支援プラントレーニング ◆内 容：支援プラン作成者を対象としたヘルスチェック、運動実技、保健指導等の継続支援 ◆回数等：150日 ③生活習慣病重症化・合併症予防事業 ◆内 容：関係機関等との連携のもと、対象者へ生活習慣改善プログラムを提供し、生活習慣病重症化・合併症を予防する。 ◆回数等：i)減塩チャレンジコース 15人×1期程度 ii)随時尿定期測定 30人×6回 iii)重症化改善コース 10人×2期（1期12回コース）				

④健康相談 ◆内 容：医師による健康相談 ◆回数等：4人×月2回程度
⑤調査・研究・開発 生活習慣病重症化・合併症予防を目的とした生活改善プログラムについて、支援方法、ツール等の開発を行うとともに、関係機関等へのフィードバックを行う。

※1「1(2) 障害者健康づくり教室」との共通予算

※2「5(1)ウ 出前講座（高齢者の介護予防）」との共通経費

4 活動の発表の機会の提供

日頃の健康づくりや介護予防に関する活動の継続支援、活動意欲の喚起を図ることを目的に、発表機会の提供を行う。また、世代間交流を通じて介護予防への理解を広げる。

(1) はつらつ健康フェスティバル	11月	カメイアリーナ仙台 (仙台市体育館)	自主事業	
			240,000	498,000
生きがい健康づくりの一環として、地域の市民センターや体育館で各種ダンス等の活動を行っているグループに対し、発表の場を提供する。また、世代間交流及び若い世代への介護予防の理解・啓発を目的として、若い世代へ参加発表の場を提供する。 ◆内 容：各種ダンス、スポーツ等の日頃の活動成果の発表 ◆対 象：仙台市内を活動拠点とする概ね15人以上のグループ				

5 地域展開・普及啓発

地域や企業、障害者団体等の依頼に応じた職員派遣、教室開催等を通じて、生活習慣病の予防・改善、障害者の健康増進、高齢者の介護予防の重要性の普及啓発等を行う。

(1) 出前講座					
ア	出前講座 (生活習慣病予防・改善)	通年	仙台市内	指定管理事業	
				550,000	550,000
①健康づくり応援事業 調査・研究等で把握した健康課題を市民の健康づくりに結び付けるため、地域やイベントで各種健康づくり応援企画を実施する。 i)地域での健康づくり講座 ◆内 容：減塩、たばこ（COPD）、身体活動量等のテーマ毎の講話と実技、実習 ◆回数等：15人～30人×4回程度 ii)イベントでの健康づくり啓発 ◆内 容：減塩、たばこ（COPD）、身体活動量等の啓発 ◆回 数：2回程度 iii)ウォーキングマップ制作 ◆内 容：市内各区や地下鉄東西線沿線のウォーキングコースを選定し、マップを作成する。 ②健康啓発事業 生活習慣病予防を目的とし、健康づくりを啓発・支援するため、講師派遣を行う。 ◆内 容：講話、実習、運動実技、体力測定 ◆対 象：市民及び職域 ◆回 数：10回程度					
イ	出前講座 (障害者の健康増進)	通年	仙台市内	指定管理事業	
				※1	※1
①障害者団体出前講座 障害者の健康づくりを啓発・支援することを目的に職員派遣を行う。 ◆内 容：保健指導、栄養指導、体力測定、運動実技、講話、ヘルスチェック等					

<p>◆対 象：障害者、施設職員、障害者を支援する方等</p> <p>◆回 数：12回程度</p> <p>②三所連携事業 障害者総合支援センター・発達相談支援センターと連携した事業を実施する。</p> <p>i)いず☆ちゅう健幸祭</p> <p>◆内 容：講演会、栄養講座、健康づくり教室の体験等</p> <p>◆対 象：主に市民（高齢者、障害者、一般）</p> <p>◆回 数：1回</p> <p>ii)呼吸健康教室</p> <p>◆対 象：呼吸器疾患を持った障害者</p> <p>◆回数等：20人×1回</p> <p>③ネットワーク事業 障害者を地域で支援する関係機関とのネットワーク会議に参加し、情報交換や連携を進めるとともに、様々な課題を共有し、解決に向けて協働できるネットワークの構築を目指す。</p>					
ウ	出前講座 (高齢者の介護予防)	通年	仙台市内	自主事業	
				1,087,000	1,697,000
<p>①出前講座 介護予防の地域づくり支援を目的に職員派遣を行う。</p> <p>◆内 容：講話、体力測定、運動実技等</p> <p>◆対 象：町内会、市民センター老壮大学等</p> <p>◆回 数：10回</p> <p>②市営住宅介護予防運動教室事業 地域における新たな健康づくり・介護予防活動の創設を目的として、公営住宅の集会所等を活用した介護予防運動教室を開催する。</p> <p>◆内 容：講話、運動実技、参加者及び地域との交流等</p> <p>◆対 象：市営住宅住民</p> <p>◆回数等：20人×12回×2ヶ所</p> <p>③地域介護予防活動支援教室 地域の健康づくり・介護予防活動の支援を目的とした運動教室を開催する。</p> <p>◆内 容：講話、運動実技、参加者及び地域との交流等</p> <p>◆対 象：地域住民</p> <p>◆回数等：30人×24回×1ヶ所</p> <p>④ネットワーク事業 東日本大震災を契機として設立された地域で運動支援を行っている団体・個人のネットワーク組織「健康運動支援情報ネットワーク仙台みやぎ（UNDA）」に参加し、事務局を担うことにより地域の健康づくりに寄与する。</p>					
(2) ふれあい広場でストレッチ		通年	シルバーセンター	自主事業	
				0	※2
<p>介護予防の普及啓発、運動実践を目的とした単発の運動教室を開催する。</p> <p>◆対 象：市民</p> <p>◆回数等：20人×2回程度</p>					
(3) 被災者向け介護予防・コミュニティ形成事業		通年	復興公営住宅 集会所等	受託事業	
				713,000	713,000
<p>東日本大震災により数回の転居を強いられ、その都度新たなコミュニティ形成を必要とされる被災高齢者等を対象として、閉じこもりや生活不活発病を予防し、生活機能の維持・改善を図るとともに、新たな交流の場を提供する目的の運動教室を開催する。</p> <p>◆内 容：講話、運動実技等</p> <p>◆対 象：復興公営住宅や周辺に住んでいる被災高齢者及びその家族等</p> <p>◆回数等：20人×月1回×5ヶ所</p>					

(4) 介護予防体操、運動道具の普及・販売	通年	—	自主事業	
			※3	※3
①介護予防体操の普及 音楽に合わせて安全で気軽にできる体操「杜の都のおトク体操」の普及を行う。 ②運動道具の取次販売 運動自主グループへ運動道具の取次販売を行い、介護予防の実践活動を支援する。				

※1「1(2) 障害者健康づくり教室」との共通予算

※2「1(3)ア 高齢者運動教室」との共通経費

※3「(1)ウ 出前講座（高齢者の介護予防）」との共通予算

6 仙台市健康増進センターの管理運営

(1) センターの維持管理	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			72,883,000	72,883,000
市民が安全に利用できるよう、センターを良好な状態に維持管理する。				

公3 高齢者等の介護に関する研修、相談及び情報提供を行う事業	収益	53,145,000円
	費用	55,784,000円
	人件費	37,070,000円
	物件費	18,714,000円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 介護講座の開催

家庭で実際に介護をしている方や市民を対象に、介護に必要な知識や技術の習得を目的とした介護講座を開催する。

(1) 市民向け介護講座	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			8,839,000	8,839,000
①介護1日講座 ◆内 容：介護実習等を通して、介護の基本的な知識・技術を1日で学ぶ講座 ◆回数等：40人×6回 ②認知症を理解する ◆内 容：認知症を理解し、医学的な知識や社会資源の活用、地域での支援を学ぶ講座 ◆回数等：60人×4回 ③ターミナルケアを学ぶ ◆内 容：看取りについての理解を深め、その支援等を学ぶ講座 ◆回数等：60人×2回 ④テーマ別介護講座 ◆内 容：テーマ毎に介護についての考え方や介護の知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：60人×5回、40人×3回 ⑤土曜介護講座 ◆内 容：平日の受講が難しい市民を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：40人×3回				

⑥地域介護講座	◆内 容：市民センターと共同で開催する、介護の知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：30人×3会場
⑦介護ナイター講座	◆内 容：日中の受講が難しい市民を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：40人×3回
⑧働く方の介護入門講座	◆内 容：働き盛りの方を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：30人×3回
⑨知って役立つ福祉用具講座	◆内 容：福祉用具展示室を利用し、機器の特性や使い方を学ぶ講座 ◆回数等：15人×4回
⑩親子向け知って役立つ福祉用具講座	◆内 容：福祉用具展示室を利用し、機器の特性や使い方を学ぶ講座 ◆回数等：2人（小学生と保護者）×10組×2回
⑪学校向け介護体験講座	◆内 容：高齢者、障害者、認知症の方への理解を深めたいと考えている小学校・中学校・高校に出張して行う講座（高齢者疑似体験、車いす体験、認知症の方との接し方） ◆回数等：随時
⑫福祉用具体験講座	◆内 容：10人以上の希望する団体を対象とした、福祉用具の選び方・使い方等を学ぶ講座 ◆回数等：随時
⑬「福祉用具の日」・「介護の日」記念行事	◆内 容：10月1日の「福祉用具の日」、11月11日の「介護の日」を記念して、セミナー・講演会の開催、福祉用具の特別展示を行う。 ◆回 数：2回

2 介護職の人材養成

介護職を対象に、認知症高齢者をはじめとした要介護者の介護に必要な知識や技術の習得・向上、将来の介護職養成を目的とした研修を開催する。

(1) 認知症介護研修	通年	シルバーセンター	受託事業	
			6,104,000	6,104,000
介護職員等を対象に、認知症高齢者を介護するために必要な知識や技術の習得・向上を目的とした研修を開催する。				
①認知症介護基礎研修 認知症高齢者の介護に必要な、基礎的な知識・技術を習得し、それを実践する考え方を養う。				
◆内 容：講義演習1日				
◆対 象：医師、看護師、准看護師、社会福祉士、介護福祉士、理学療法士、作業療法士の資格を持たない市内各種老人福祉施設等の認知症ケア業務従事者又は従事予定者				
◆回数等：50人×2回				
②認知症介護実践者研修 施設、在宅に関わらず、認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を養う。				
◆内 容：講義演習5日、職場実習4週間、中間報告会1日、報告会1日				
◆対 象：実務経験2年以上の市内福祉関係事業所の介護職員等				
◆回数等：70人×4回				
③認知症介護実践リーダー研修 認知症介護実践者研修で得られた知識・技術をさらに深め、施設・事業所においてケアチームを効果的・効率的に機能させる能力を有した指導者を養う。				

<p>◆内 容：講義演習9日、職場実習4週間、報告会1日</p> <p>◆対 象：実務経験5年以上の市内福祉関係事業所の介護職員等</p> <p>◆回数等：36人×1回</p> <p>④認知症対応型サービス事業管理者研修</p> <p>認知症の基本理念・基礎知識を習得した管理者として予定される者に、総合的に事業所を管理運営できる力を養う。</p> <p>◆内 容：講義演習2日</p> <p>◆対 象：地域密着型サービス事業所の管理者又は管理者に就任予定の市内福祉関係事業所の介護職員等</p> <p>◆回数等：24人×2回</p> <p>⑤小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修</p> <p>利用者及び事業の特性を踏まえた介護事業計画を作成するために必要な知識と技術を習得し、計画を作成できる力を養う。</p> <p>◆内 容：講義演習2日</p> <p>◆対 象：小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者又は計画作成担当者に就任予定の市内福祉関係事業所の介護職員等</p> <p>◆回数等：20人×1回</p>				
(2) キャラバン・メイト養成研修	年1回	シルバーセンター	受託事業	
			968,000	968,000
<p>認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトを養成する。</p> <p>◆内 容：認知症の症状・予防、認知症の人と接するときの心構え、認知症サポーター養成講座の運営方法等</p> <p>◆対 象：地域包括支援センター職員、認知症介護実践リーダー研修等を修了した者</p> <p>◆回数等：30人×1回</p>				
(3) 難病患者等ホームヘルパー養成研修	年1回	シルバーセンター	受託事業	
			150,000	150,000
<p>難病患者等へのサービスの提供のために必要な知識や技術を習得し、ホームヘルパーを養成する。</p> <p>◆内 容：難病の症状やケアに関する医学知識、医療・保険・福祉制度、本人の心理、家族の理解</p> <p>◆対 象：難病患者等のホームヘルプ事業に従事している介護職員又は今後従事予定の介護職員</p> <p>◆回数等：100人×1回</p>				
(4) 介護職スキルアップ研修	年11回	シルバーセンター	自主事業	
			2,175,000	2,653,000
<p>介護業務に必要な知識・技術の習得及び意識の高揚を図り、介護職としての資質向上を図る。</p> <p>◆内 容：介護技術実習、認知症の理解と対応、ターミナルケア、精神疾患の理解と対応等</p> <p>◆対 象：市内福祉関係事業所の介護職員等</p> <p>◆回数等：48人×5回、70人×1回、80人×1回、90人×4回</p>				
(5) 介護福祉士国家試験事前実技試験講習会	年1回	シルバーセンター	自主事業	
			256,000	※
<p>介護福祉士国家試験実技試験に必要な知識・技術を身につけ、介護福祉士の育成に資する。</p> <p>◆内 容：実技試験の模範実技、実習・解説等2日</p> <p>◆対 象：筆記試験を受験した方</p> <p>◆回数等：32人×1回</p>				

※「(4) 介護職スキルアップ研修」との共通経費

3 介護に関する相談、情報提供

高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、在宅介護や福祉用具、高齢者の保健福祉サービス等に関する相談、情報提供を行う。

(1) 介護に関する相談、情報提供	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※

①介護に関する相談 要介護者やその家族等を支援するために、福祉用具や介護に関する相談に対応する。 ◆相談日：シルバーセンター休館日を除く毎日 ◆相談方法：電話、来所
②図書等の閲覧・貸出 介護、福祉用具、保健福祉サービス等に関する情報を提供するほか、図書・ビデオ・DVD（約1,300点）の閲覧・貸出を行う。
③福祉用具の展示 ◆常設展示：ベッド、床ずれ予防関連用品、排泄用品、生活自助具、車いす等約488点 ◆特別展示：10月1日の「福祉用具の日」、11月11日の「介護の日」を記念した福祉用具の特別展示（認知症関連機器等）

※「1(1) 市民向け介護講座」との共通予算

4 地域展開・普及啓発

学校、企業、町内会等の団体からの依頼に応じた講師派遣、講座の企画・実施を通じて、認知症への理解を深めるとともに、介護に必要な知識・技術の普及啓発を行う。

(1) 認知症サポーター養成講座 事務局運営	随時	—	受託事業	
			※1	※1
認知症についての正しい知識普及、認知症の人や家族の応援、地域における見守り・理解者となる認知症サポーターの養成を目的に、講座開催を希望する学校、企業等からの依頼に応じて、養成研修を修了したキャラバン・メイトの派遣や教材手配を行う。				
(2) 職域等向け介護研修	随時	—	自主事業	
			30,000	※2
介護に必要な知識・技術の習得を目的に、職域等（企業、商店組織、介護サービス事業者等）からの希望に応じた研修を企画・開催する。				

※1「2(2) キャラバン・メイト養成研修」との共通予算

※2「2(4) 介護職スキルアップ研修」との共通経費

公4 要介護認定及び障害支援区分認定に係る認定調査を行う事業	収益	398,736,000円
	費用	398,736,000円
	人件費	321,870,000円
	物件費	76,866,000円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

(1) 要介護認定訪問調査受託事業	通年	—	受託事業	
			75,008,000	75,008,000
仙台市及び他市町村等から委託を受け、介護保険法及び生活保護法に基づく介護サービスの受給要件となる要介護認定のための訪問調査を行う。 ◆調査見込件数：38,869件 ①仙台市 38,251件 ・初回申請 13,530件 ・更新申請 21,053件 ・区分変更・再調査 3,413件 ・介護扶助 255件				

②他市町村		618件	
(2) 障害支援区分認定訪問調査 受託事業	通年	—	受託事業
			1,858,000
仙台市及び他市町村等から委託を受け、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの受給要件となる障害支援区分認定のための訪問調査を行う。 ◆調査見込件数：1,727件 ①仙台市 1,717件 ②他市町村 10件			

【収益事業】

収1 仙台市シルバーセンターの管理運営を行う事業	収益 69,257,000円 費用 66,480,000円 人件費 13,120,000円 物件費 53,360,000円
--------------------------	--

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 仙台市シルバーセンターの管理運営

(1) 研修室等の貸出 温水プール等の利用提供 センターの維持管理	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			53,360,000	53,360,000
①福祉団体等以外への研修室等の貸出 福祉団体等が不使用時において、使用料を徴収し、一般団体に貸出を行う。 (平成27年度実績 1,546件 41,553人) ②高齢者等以外への温水プール・浴室・サウナの利用提供 60歳以上の高齢者及び障害者以外の方を対象に、温水プール・浴室・サウナの利用提供を行う。 (平成27年度実績 4,336人) ③公益目的事業以外に係るセンターの維持管理業務				

収2 生活習慣病予防・改善講座及び仙台市健康増進センターの管理運営を行う事業	収益 24,538,000円 費用 24,538,000円 人件費 12,795,000円 物件費 11,743,000円
--	--

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 生活習慣病の予防・改善に関する講座

(1) 健康づくり推進事業	通年	健康増進センター	自主事業	
			680,000	680,000

<p>健康度測定受診者及び健康づくり講座参加者について、身体状況把握、効果測定等を目的とし、尿・血液検査を行う。また、身体活動量の目安把握のための歩数計配付や講座用の材料提供を行う。</p> <p>◆対象：健康度測定受診者及び健康づくり講座参加者</p> <p>◆回数等：尿・血液検査 110人 尿検査 270人 歩数計配付 100人 栄養講座材料提供 120人</p>				
(2) 健康づくり講座	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			174,000	174,000
<p>働き盛りの世代のうちから肥満や運動不足、食事バランスの偏り、喫煙等の生活習慣の改善を促し、将来の疾病を予防することを目的とした講座を実施する。</p> <p>①ヘルスアップセミナー（個人向け）</p> <p>◆内容：高血圧、たばこ（COPD）、栄養、ロコモティブシンドローム等のテーマ別講話と運動、調理等テーマに沿った実技・実習</p> <p>◆回数等：15～30人×14回程度</p> <p>②ヘルスアップセミナー（団体向け）</p> <p>◆内容：生活習慣病予防に関する講話や運動実技</p> <p>◆回数等：25人×10回程度</p> <p>③メタボリックシンドローム予防教室</p> <p>◆内容：メタボリックシンドローム予防改善に関する講話、運動実技等</p> <p>◆回数等：15人×2期（1期2回コース）</p>				

2 仙台市健康増進センターの管理運営

(1) 施設の利用提供 センターの維持管理	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			10,889,000	10,889,000
<p>①施設の利用提供 公益目的事業不使用時に使用料を徴収し、健康づくりの場として施設の利用提供を行う。</p> <p>◆対象：16歳以上で運動可能な方</p> <p>②施設利用サポーターの養成・活用 施設の利用提供において利用者が増加し、高齢者や障害者の割合が高くなっている状況で、利用者の安全性確保と利便性向上を図るため、施設利用サポーターを養成し、その活用を行う。</p> <p>◆対象：健康づくり運動サポーター及び学生ボランティア</p> <p>③公益目的事業以外に係るセンターの維持管理業務</p>				